

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	【運営推進会議を活かした取り組み】 コロナ禍により、実施ができなかった。また、参加者への議事録等を送付した方が良い。	コロナ禍においても、スタッフだけでも実施し、その協議内容を、運営推進会議構成員の方々へ報告すること。	スタッフだけでも運営推進会議を実施し、令和4年3月から実施する。年6回奇数月を予定。その結果を構成員の方々へ周知すること。	4ヶ月
2	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 モニタリングを3か月ごとに実施しているが、さらにスタッフの参加を促し、より良い介護計画に反映させる。	定期的にはまたはその都度、ご入居者様の状態の変化についてカンファレンスをし、ケアのあり方について協議すること。	管理者兼看護師の指導のもとに、医療的な観点を取り入れたOJTを行う。ご入居者様一人ひとりの病状や状態を確認し合い、介護計画に反映させること。	12ヶ月
3	49	【日常的な外出支援】 コロナ禍において、外出等の人の多い所への支援ができていない。	外出支援だけではなく、ホーム内でも身体を動かしたり、楽しく活動的に過ごせる工夫を行うこと。	フロア内及びホーム外部周辺での歩行訓練や、定時の歌に合わせた体操、調理、塗り絵、縫物等、趣味に合わせた取り組み、スタッフ手作りのイベントを企画すること。	6ヶ月
4	19	【本人を共に支え合う家族との関係】 コロナ禍において、ご家族の面談も思うように進まなかった。	コロナ禍においても、感染対策を厳重に行い、事前予約等で人数制限しながら対応すること。また、お知らせ内容を充実させること。	「しあわせだより」(月1回発行)の内容を、ご入居者様一人ひとりに対して、発行すること。電話にて、定期的にご家族の方と情報を共有する。管理者がご家族のもとへ訪問し、情報共有すること。	3ヶ月
5	13	【職員を育てる取り組み】 コロナ禍でもあり、外部研修への参加等が、積極的にできていなかった。	ケアマネ兼看護師の管理者を中心にOJTの取り組みを強化する。また、介護資格の取得に関する支援を強化すること。	新人職員及び中堅職員へもOJTを通じて、認知症ケア・介護ケア技術の習得を目指す。また、新人には初任者研修、中堅職員にはステップアップ研修の参加、介護福祉士の資格取得を支援すること。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。